

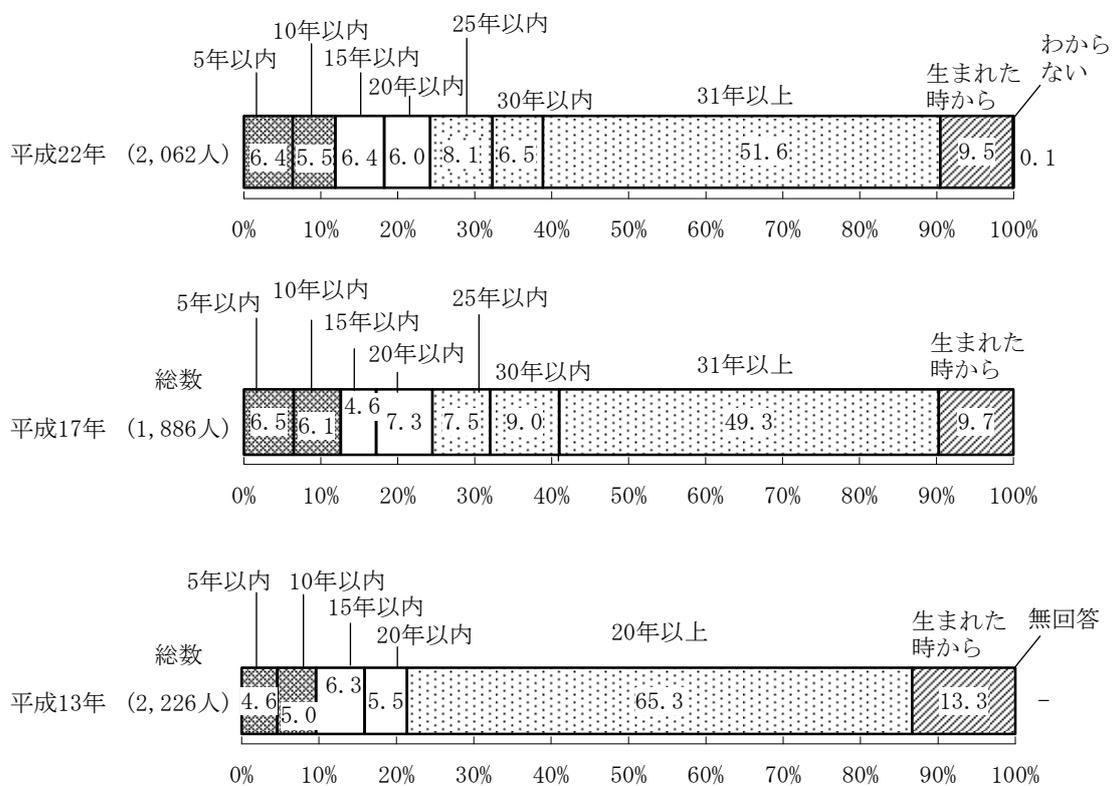
## 2 住宅の状況

### (1) 居住歴 (Q10)

居住歴（現在の居住地での居住期間）についてみると、「31年以上」の51.6%と、「生まれた時から」の9.5%とを合わせると、居住年数が31年以上の者が61.1%と6割を超えている。一方、「5年以内」は6.4%となっている。

過去の調査と比較すると、平成17年調査は13年調査より、20年以上の居住年数が占める割合がやや減少したが、平成17年と平成22年調査では大きな変化はみられない。

図2-1 居住歴 (Q10)



都市規模別にみると、小都市では「31年以上」(57.5%)及び「生まれた時から」(13.4%)の割合が高く、居住年数31年以上は7割を超えている。町村も「生まれた時から」(18.4%)の割合が、他の都市規模より高くなっている。一方、大都市では10年以内の割合が他の都市規模より高い。

性別にみると、「生まれた時から」(男性17.1%、女性2.6%)の割合は男性が高く、「31年以上」(男性43.2%、女性59.2%)の割合は女性が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるほど「31年以上」の割合が高くなっている。

住宅の種類別、建て方別にみると、持ち家及び一戸建て住宅で「31年以上」(56.2%、56.6%)及び「生まれた時から」(10.6%、10.9%)の割合が高くなっている。

表 2 - 1 居住歴

(%)

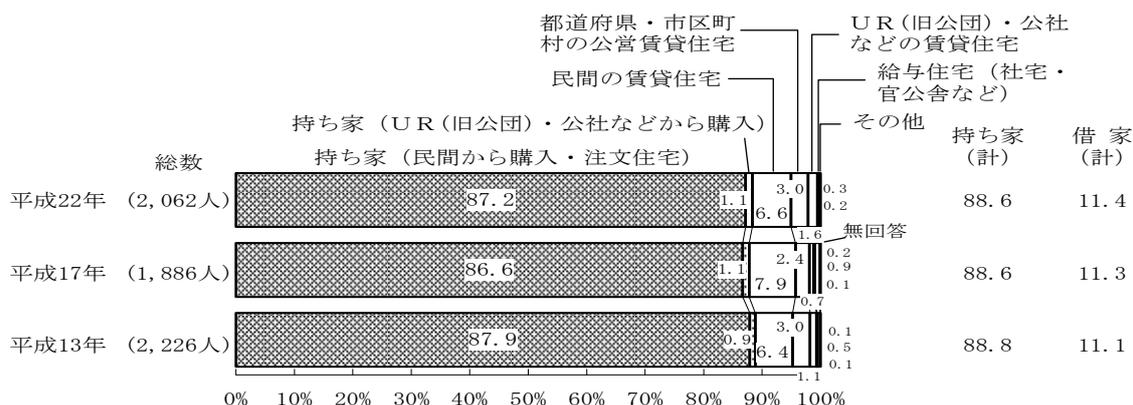
	総数	5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	25年以内	30年以内	31年以上	生まれた時から	わからない
【総数】	2062	6.4	5.5	6.4	6.0	8.1	6.5	51.6	9.5	0.1
【都市規模別】										
大都市	472	9.3	8.3	7.8	7.0	9.5	6.1	47.9	3.6	0.4
中都市	867	5.8	5.7	5.9	5.9	9.2	8.3	51.1	8.2	-
小都市	522	5.6	3.1	5.6	6.1	4.6	4.2	57.5	13.4	-
町村	201	4.0	5.0	7.0	3.5	9.0	6.0	47.3	18.4	-
【性別】										
男性	979	6.3	5.7	7.4	6.1	8.1	6.0	43.2	17.1	0.1
女性	1083	6.4	5.4	5.4	5.8	8.1	7.0	59.2	2.6	0.1
【年齢階級別】										
60～64歳	574	8.9	5.7	7.8	8.7	11.3	8.7	36.1	12.7	-
65～69歳	500	6.8	5.6	8.2	6.4	8.4	7.2	49.8	7.4	0.2
70～74歳	457	5.9	7.2	5.9	4.2	6.8	5.3	57.1	7.7	-
75～79歳	322	5.0	4.3	3.4	5.3	6.5	5.3	60.6	9.6	-
80～84歳	147	2.0	2.0	4.8	2.0	2.0	5.4	69.4	11.6	0.7
85歳以上	62	-	4.8	-	3.2	8.1	-	80.6	3.2	-
【健康状態別】										
良い	787	5.8	5.2	8.1	6.7	7.6	6.4	51.5	8.5	0.1
まあ良い	379	5.3	5.5	5.5	5.3	5.0	8.7	52.0	12.4	0.3
普通	533	7.7	5.6	5.4	6.0	10.3	5.3	51.4	8.3	-
あまり良くない	293	6.1	6.1	5.5	5.8	8.5	6.8	50.9	10.2	-
良くない	70	8.6	5.7	1.4	1.4	11.4	5.7	55.7	10.0	-
良好(計)	1166	5.7	5.3	7.3	6.3	6.8	7.1	51.6	9.8	0.2
不良(計)	363	6.6	6.1	4.7	5.0	9.1	6.6	51.8	10.2	-
【住宅の種類別】										
持ち家	1826	3.2	4.3	5.4	5.6	7.8	6.7	56.2	10.6	0.1
借家	236	30.5	14.8	13.6	8.9	10.2	5.5	16.1	0.4	-
【住宅の建て方別】										
一戸建て住宅	1770	3.7	3.6	5.6	5.4	7.6	6.4	56.6	10.9	0.1
集合住宅	286	22.0	17.1	10.8	9.8	10.8	7.3	21.3	0.3	0.3

## (2) 住宅の種類 (Q11)

住宅の種類についてみると、「持ち家（民間から購入・注文住宅）」が87.2%で圧倒的に割合が高い。続く「民間の賃貸住宅」は6.6%である。「持ち家（計）」、「借家（計）」でみると、「持ち家（計）」が88.6%、「借家（計）」が11.4%となっている。

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図2-2 住宅の種類 (Q11)



都市規模別にみると、都市規模が小さくなるほど、「持ち家（民間から購入・注文住宅）」及び「持ち家（計）」の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「持ち家（計）」は、「80～84歳」（91.2%）及び「85歳以上」（95.2%）で9割を上回っている。なお、80歳未満でも「持ち家（計）」は9割近い割合となっており、年齢階級別に大きな差はみられない。

家族形態別にみると、単身世帯で「借家（計）」が31.6%と他の家族形態に比べ、かなり高い割合となっている。一方、本人と子と孫の世帯では「持ち家（計）」が98.1%で、ほぼ全員が持ち家に住んでいる。

図2-3 住宅の種類 (家族形態別) (Q11)

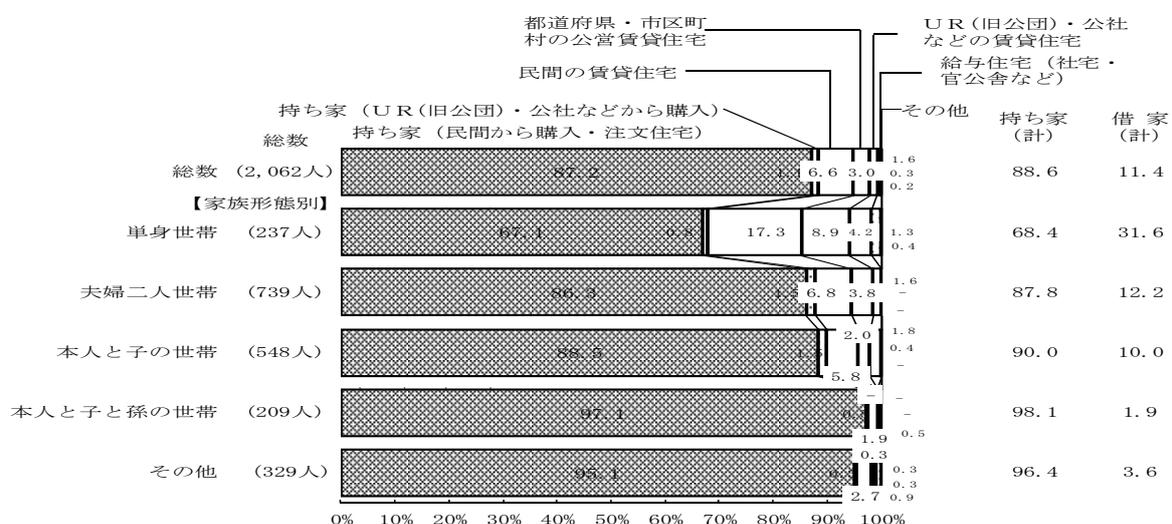


表 2 - 2 住宅の種類

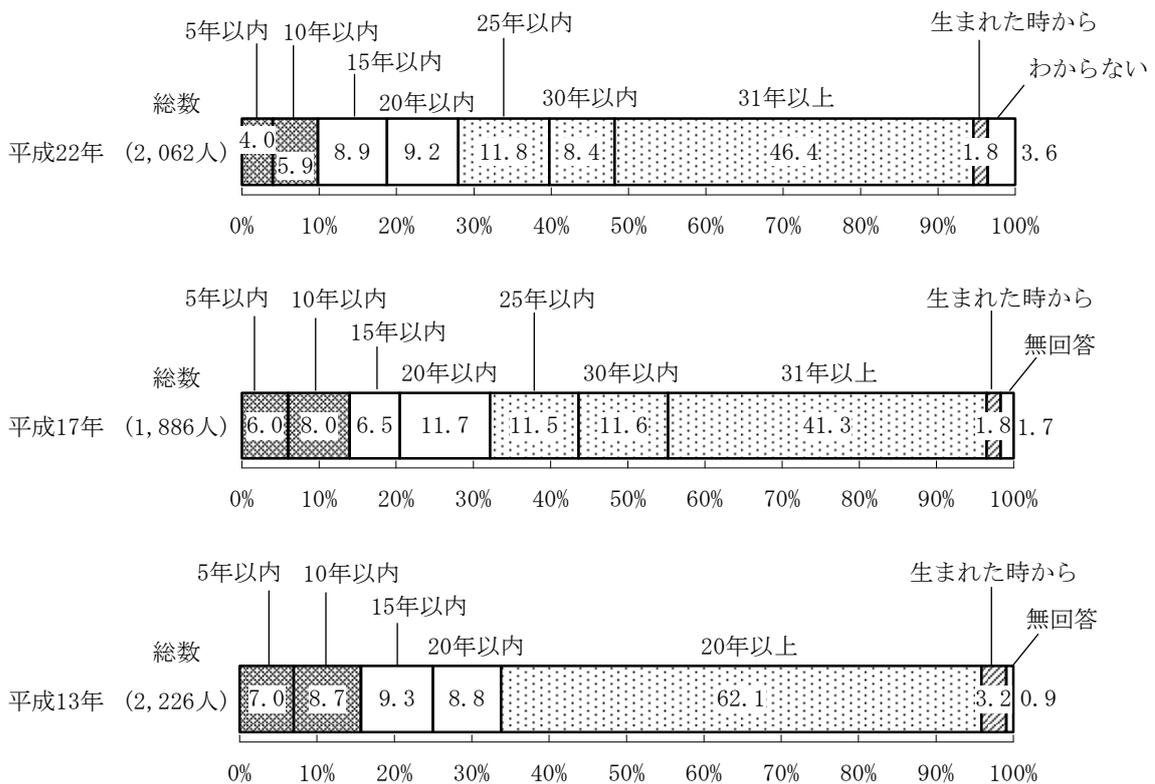
	総数	持ち家 (民間か ら購入・ 注文住 宅)	持ち家 (UR (旧公 団)・公 社などか ら購入)	民間の賃 貸住宅	都道府県 ・市区町 村の公営 賃貸住宅	UR(旧 公団)・ 公社など の賃貸住 宅	給与住宅 (社宅・ 官公舎な ど)	その他	持ち家 (計)	借家 <sup>(%)</sup> (計)
【総数】	2062	87.2	1.1	6.6	3.0	1.6	0.3	0.2	88.6	11.4
【都市規模別】										
大都市	472	80.3	3.0	10.2	2.1	3.8	0.4	0.2	83.5	16.5
中都市	867	86.9	1.0	6.8	3.0	1.7	0.2	0.3	88.2	11.8
小都市	522	91.2	-	4.0	4.2	-	0.4	0.2	91.4	8.6
町村	201	94.5	-	4.0	1.5	-	-	-	94.5	5.5
【年齢階級別】										
60～64歳	574	87.1	1.4	7.3	2.1	1.6	0.3	0.2	88.7	11.3
65～69歳	500	86.8	1.2	6.6	3.2	1.2	0.4	0.6	88.6	11.4
70～74歳	457	85.6	0.9	7.7	4.2	1.3	0.2	0.2	86.7	13.3
75～79歳	322	87.6	0.9	5.3	2.5	3.4	0.3	-	88.5	11.5
80～84歳	147	90.5	0.7	4.8	3.4	0.7	-	-	91.2	8.8
85歳以上	62	93.5	1.6	3.2	1.6	-	-	-	95.2	4.8
【家族形態別】										
単身世帯	237	67.1	0.8	17.3	8.9	4.2	1.3	0.4	68.4	31.6
夫婦二人世帯	739	86.3	1.5	6.8	3.8	1.6	-	-	87.8	12.2
本人と子の世帯	548	88.5	1.5	5.8	2.0	1.8	0.4	-	90.0	10.0
本人と子と孫の世帯	209	97.1	0.5	1.9	-	-	-	0.5	98.1	1.9
その他	329	95.1	0.3	2.7	0.3	0.3	0.3	0.9	96.4	3.6

### (3) 住宅の建築時期 (Q12)

住宅の建築時期についてみると、「31年以上」の46.4%、「生まれた時から」の1.8%とを合わせると、31年以上経過している住宅が48.2%と約5割を占めている。一方、「5年以内」(4.0%)と「10年以内」(5.9%)を合わせた割合は約1割となっている。

過去の調査と比較すると、平成17年調査より平成22年調査では「31年以上」が増加している。一方、10年以内の居住年数が短い人の割合は平成13年以降減少傾向がみられる。

図2-4 住宅の建築時期 (Q12)



都市規模別にみると、小都市及び町村で「31年以上」(53.1%、50.7%)の割合が過半数を占めている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるほど「31年以上」の割合が高くなる傾向がみられ、75歳以上の各年齢階級で「31年以上」の割合が6割前後に達している。

表 2 - 3 住宅の建築時期

(%)

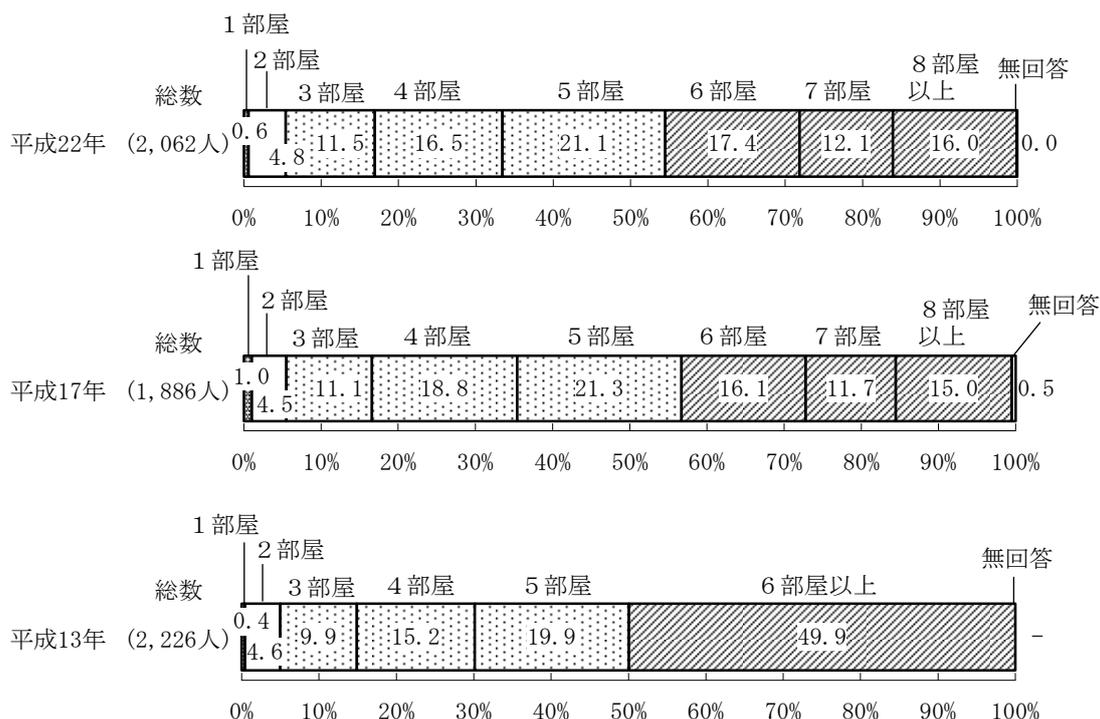
	総数	5年以内	10年以内	15年以内	20年以内	25年以内	30年以内	31年以上	生まれた時から	わからない
【総数】	2062	4.0	5.9	8.9	9.2	11.8	8.4	46.4	1.8	3.6
【都市規模別】										
大都市	472	5.5	8.1	10.2	11.2	12.7	8.9	37.5	0.4	5.5
中都市	867	3.9	5.4	8.1	9.7	13.1	8.3	46.1	1.8	3.5
小都市	522	3.8	5.0	9.0	8.4	8.2	7.5	53.1	2.3	2.7
町村	201	1.0	5.0	9.5	4.5	12.9	10.4	50.7	4.0	2.0
【性別】										
男性	979	4.2	6.5	9.3	8.5	12.8	8.0	44.1	3.0	3.7
女性	1083	3.8	5.3	8.6	9.9	10.9	8.9	48.4	0.8	3.5
【年齢階級別】										
60～64歳	574	4.0	7.0	10.3	11.3	12.7	10.3	38.0	2.8	3.7
65～69歳	500	6.0	6.4	9.0	9.6	12.6	9.6	41.4	1.2	4.2
70～74歳	457	3.5	6.1	8.3	8.5	12.9	8.1	48.4	1.1	3.1
75～79歳	322	2.5	4.7	8.1	7.1	8.7	5.9	57.8	1.9	3.4
80～84歳	147	2.0	3.4	7.5	8.2	8.8	6.1	57.1	3.4	3.4
85歳以上	62	3.2	1.6	8.1	4.8	11.3	3.2	64.5	-	3.2
【健康状態別】										
良い	787	5.3	6.1	11.2	10.4	11.6	7.9	43.7	1.3	2.5
まあ良い	379	4.5	5.8	7.1	9.2	10.8	9.8	49.3	1.6	1.8
普通	533	3.6	6.6	9.0	9.2	12.0	6.9	46.0	2.3	4.5
あまり良くない	293	1.4	4.8	6.5	6.5	13.0	11.6	48.5	2.4	5.5
良くない	70	-	2.9	2.9	7.1	12.9	5.7	54.3	4.3	10.0
良好(計)	1166	5.1	6.0	9.9	10.0	11.3	8.5	45.5	1.4	2.3
不良(計)	363	1.1	4.4	5.8	6.6	12.9	10.5	49.6	2.8	6.3
【住宅の種類別】										
持ち家	1826	4.0	6.1	9.0	9.4	12.4	8.8	47.6	2.0	0.7
借家	236	3.8	4.2	8.5	7.6	6.8	5.9	36.9	0.4	25.8
【住宅の建て方別】										
一戸建て住宅	1770	3.8	5.4	9.0	9.3	11.8	8.6	48.3	2.1	1.7
集合住宅	286	4.5	9.1	8.7	8.7	12.2	7.3	34.6	-	14.7

#### (4) 居室の数 (Q13)

居室の数についてみると、「5部屋」が21.1%と最も高く、次いで、「6部屋」が17.4%、「4部屋」が16.5%となっている。6部屋以上は45%台である。

過去の調査と比較すると、6部屋以上の割合は平成17年に減少したが、平成22年調査では減少に歯止めがかかっている。

図2-5 居室の数 (Q13)



都市規模別にみると、小都市、町村では「8部屋以上」の割合が、中都市では「5部屋」の割合が、それぞれ最も高くなっている。一方、大都市では「3部屋」の割合が最も高く、3部屋以下は約3割を占めている。

家族形態別にみると、家族形態が大きいほど部屋数が多くなる傾向がみられ、本人と子と孫の世帯では「8部屋以上」(32.1%)が3割以上を占めている。一方、単身世帯では、3部屋以下の割合(1部屋3.8%、2部屋19.8%、3部屋17.7%)が高くなっている。

住宅の種類別にみると、持ち家では5部屋以上が4分の3を占めているが、「借家」では「3部屋」が40.7%と最も高い割合となっており、次いで、「2部屋」が30.1%と、3部屋以下の割合が4分の3を占めている。

住宅の建て方別にみると、一戸建て住宅では5部屋以上がほぼ4分の3以上を占めているが、集合住宅では4.5%にとどまっている。一方、集合住宅では、「3部屋」が39.9%、「2部屋」が24.8%、「1部屋」が3.1%で3部屋以下が7割近くを占めている。

表 2 - 4 居室の数

(%)

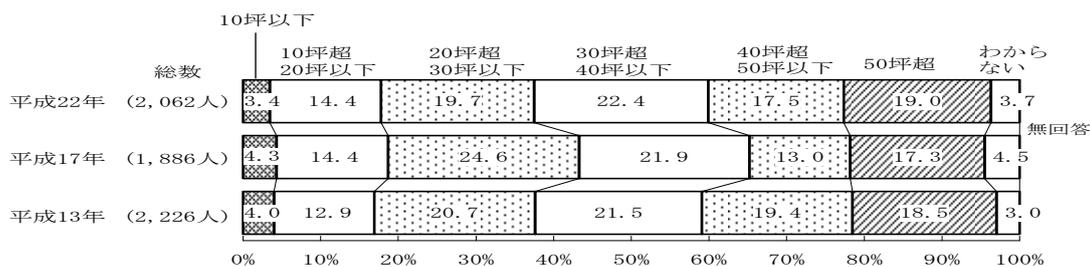
	総数	1 部屋	2 部屋	3 部屋	4 部屋	5 部屋	6 部屋	7 部屋	8 部屋 以上	無回答
【 総 数 】	2062	0.6	4.8	11.5	16.5	21.1	17.4	12.1	16.0	0.0
【都市規模別】										
大都市	472	1.3	6.8	21.2	19.9	18.0	15.9	8.5	8.5	-
中都市	867	0.6	6.2	10.1	17.3	24.8	16.7	10.8	13.4	-
小都市	522	0.2	1.3	6.9	12.6	18.0	19.9	16.7	24.1	0.2
町村	201	-	3.5	6.5	14.9	20.4	16.9	13.9	23.9	-
【年齢階級別】										
6 0 ～ 6 4 歳	574	0.5	3.1	11.1	18.5	22.8	15.0	12.0	16.7	0.2
6 5 ～ 6 9 歳	500	0.2	5.0	11.6	15.4	23.8	19.4	12.4	12.2	-
7 0 ～ 7 4 歳	457	0.7	6.1	10.9	15.5	21.7	16.6	13.1	15.3	-
7 5 ～ 7 9 歳	322	1.2	4.7	14.9	16.1	17.4	18.3	10.2	17.1	-
8 0 ～ 8 4 歳	147	0.7	6.8	6.8	14.3	15.0	19.7	12.2	24.5	-
8 5 歳以上	62	-	6.5	11.3	21.0	12.9	17.7	11.3	19.4	-
【家族形態別】										
単身世帯	237	3.8	19.8	17.7	18.6	13.9	9.3	5.9	11.0	-
夫婦二人世帯	739	0.4	4.6	14.2	21.5	20.8	19.5	10.1	8.7	0.1
本人と子の世帯	548	-	2.4	11.9	16.1	25.5	17.2	13.5	13.5	-
本人と子と孫の世帯	209	-	-	3.8	8.1	20.1	18.7	17.2	32.1	-
その他	329	-	1.8	5.2	9.7	20.1	17.9	15.2	30.1	-
【住宅の種類別】										
持ち家	1826	0.1	1.6	7.7	16.0	23.4	19.5	13.6	18.0	0.1
借家	236	4.2	30.1	40.7	20.3	3.0	0.8	0.4	0.4	-
【住宅の建て方別】										
一戸建て住宅	1770	0.1	1.6	6.9	14.7	24.0	20.1	14.0	18.5	0.1
集合住宅	286	3.1	24.8	39.9	27.6	3.5	1.0	-	-	-

## (5) 住宅の広さ (Q14)

住宅の広さについてみると、「30坪超 40坪以下」が22.4%と最も高く、次いで、「20坪超 30坪以下」が19.7%、「50坪超」が19.0%、「40坪超 50坪以下」が17.5%、「10坪超 20坪以下」が14.4%、「10坪以下」が3.4%の順となっている。

過去の調査と比較すると、平成17年調査より30坪超の割合がいずれも増加しており、平成13年調査とほぼ同様の傾向を示している。

図2-6 住宅の広さ (Q14)



都市規模別にみると、都市規模が大きくなるほど住宅が狭くなる傾向がみられ、20坪以下は町村では6.0%に過ぎないが、大都市では約3割に達している。一方、小都市及び町村では、「40坪超 50坪以下」と「50坪超」の割合が高くなっている。

家族形態別にみると、家族形態が大きいほど住宅が広くなる傾向がみられる。単身世帯では「10坪以下」(16.0%)及び「10坪超 20坪以下」(23.6%)で約4割を占めるが、夫婦二世帯及び本人と子の世帯では、「20坪超 30坪以下」(いずれも22.1%)と「30坪超 40坪以下」(25.4%、23.4%)で、合わせてそれぞれ4割以上を占める。また、本人と子と孫の世帯では、「50坪超」(34.9%)が最も割合が高く、「40坪超 50坪以下」(23.9%)と合わせると約6割を占めている。

住宅の種類別にみると、20坪以下は持ち家より借家の割合が高く、20坪超は借家より持ち家の割合が高くなっている。また、持ち家で最も割合が高いのは「30坪超 40坪以下」(25.0%)であるのに対し、借家では「10坪超 20坪以下」(51.3%)が最も割合が高く、過半数を占めている。

住宅の建て方別にみると、30坪以下は集合住宅で、30坪超は一戸建て住宅で、高い割合となっている。

図2-7 住宅の広さ (都市規模別) (Q14)

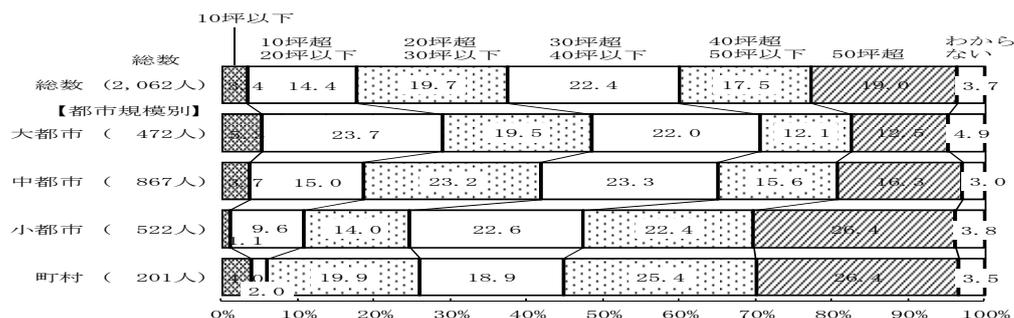


表 2 - 5 住宅の広さ

(%)

	総数	10坪以下	10坪超 20坪以下	20坪超 30坪以下	30坪超 40坪以下	40坪超 50坪以下	50坪超	わからない	平均 (坪)
【総数】	2062	3.4	14.4	19.7	22.4	17.5	19.0	3.7	39.7
【都市規模別】									
大都市	472	5.3	23.7	19.5	22.0	12.1	12.5	4.9	33.6
中都市	867	3.7	15.0	23.2	23.3	15.6	16.3	3.0	37.7
小都市	522	1.1	9.6	14.0	22.6	22.4	26.4	3.8	45.3
町村	201	4.0	2.0	19.9	18.9	25.4	26.4	3.5	47.8
【年齢階級別】									
60～64歳	574	3.1	14.5	20.2	23.0	14.5	20.7	4.0	40.9
65～69歳	500	2.4	14.8	21.8	25.4	18.6	14.6	2.4	37.9
70～74歳	457	3.9	14.0	21.0	20.4	18.6	19.5	2.6	39.2
75～79歳	322	4.7	15.5	18.0	20.8	19.3	17.7	4.0	38.8
80～84歳	147	5.4	11.6	12.2	19.0	20.4	23.8	7.5	42.2
85歳以上	62	-	12.9	14.5	24.2	11.3	29.0	8.1	45.3
【家族形態別】									
単身世帯	237	16.0	23.6	19.4	15.6	7.2	13.9	4.2	30.5
夫婦二世帯	739	2.6	17.3	22.1	25.4	17.5	12.4	2.7	36.0
本人と子の世帯	548	2.6	13.7	22.1	23.4	18.4	16.4	3.5	39.0
本人と子と孫の世帯	209	-	5.7	12.9	18.2	23.9	34.9	4.3	50.3
その他	329	-	7.6	14.9	21.6	19.1	31.3	5.5	49.3
【住宅の種類別】									
持ち家	1826	0.6	9.6	20.6	25.0	19.6	21.4	3.3	42.7
借家	236	25.4	51.3	12.7	2.5	1.3	0.4	6.4	15.9
【住宅の建て方別】									
一戸建て住宅	1770	1.0	8.7	19.0	25.8	20.3	21.8	3.4	43.1
集合住宅	286	18.2	49.7	24.1	1.7	-	1.4	4.9	17.9

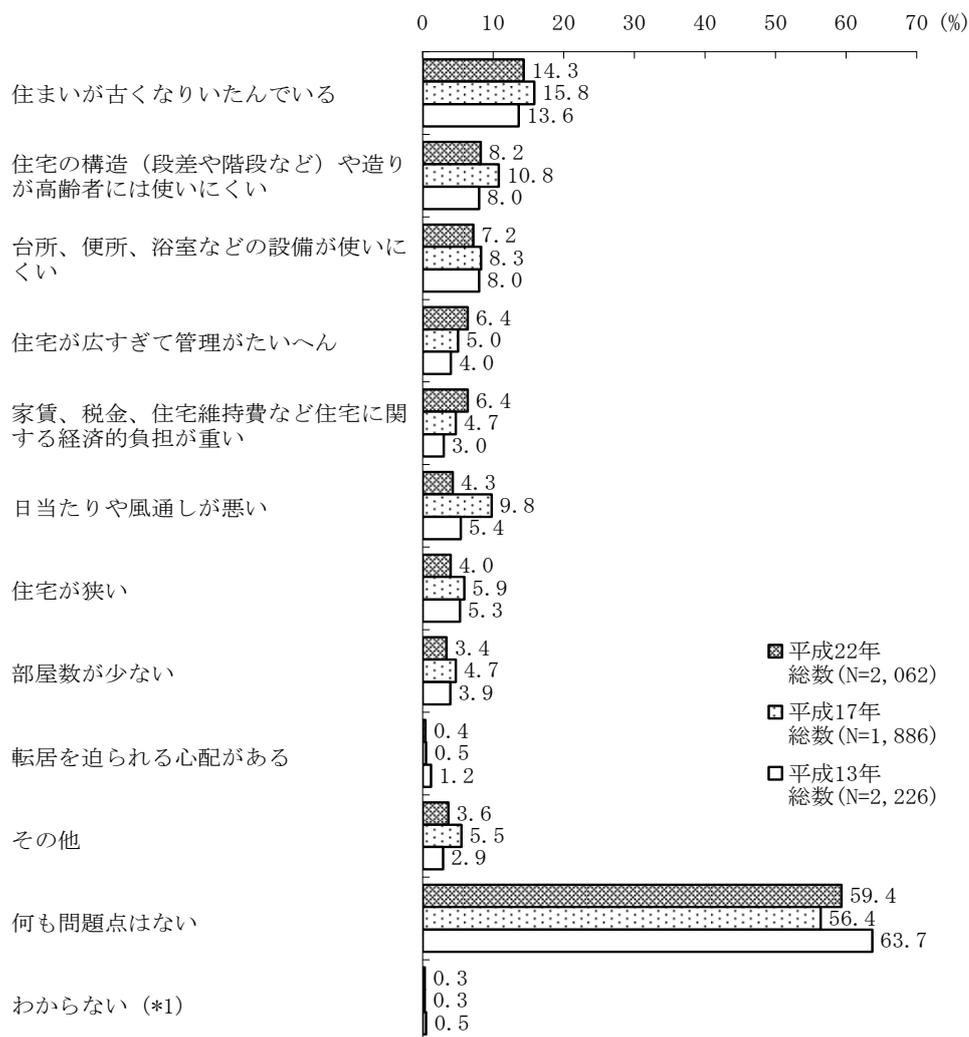
## (6) 住宅で困っていること(Q15)

現在、住んでいる住宅で困っていることがあるかについてみると、59.4%と約6割が「何も問題点はない」としている。

一方、困っている理由をみると、「住まいが古くなりいたんでいる」が14.3%で最も高く、次いで、「住宅の構造（段差や階段など）や造りが高齢者には使いにくい」が8.2%、「台所、便所、浴室などの設備が使いにくい」が7.2%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「何も問題点はない」とする人の割合は平成17年に減少したが、平成22年調査ではやや増加している。

図2-8 住宅で困っていること(Q15)(複数回答)



(\*1) 平成13、17年は「無回答」

都市規模別にみると、「町村」では「何も問題点はない」が66.7%で、割合が高くなっている。一方、「中都市」では具体的な問題点をあげた割合が若干高くなっており、「何も問題点はない」は55.1%である。

住宅の種類別にみると、「何も問題点はない」は、持ち家で61.2%に対し、借家で45.3%となっている。借家で困っている理由は、「住まいが古くなりいたんでいる」及び「家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い」が共に17.8%、「台所、便所、浴室などの設備が使いにくい」が15.7%の順となっている。

表2 - 6 住宅で困っていること（複数回答） (%)

	総数	住まいが古くなりいたんでいる	住宅の構造や造りが高齢者には使いにくい	台所、便所、浴室などの設備が使いにくい	住宅が広すぎて管理がたいへん	家賃、税金、住宅維持費など住宅に関する経済的負担が重い	日当たりや風通しが悪い
【総数】	2062	14.3	8.2	7.2	6.4	6.4	4.3
【都市規模別】							
大都市	472	9.7	7.4	5.7	4.4	6.4	6.4
中都市	867	17.8	9.0	8.8	5.9	8.4	4.0
小都市	522	13.2	8.8	6.9	7.9	4.0	3.6
町村	201	12.9	5.5	4.5	9.5	4.0	2.0
【年齢階級別】							
60～64歳	574	16.4	7.7	7.3	7.1	7.1	5.1
65～69歳	500	12.8	6.6	7.8	6.0	4.6	5.2
70～74歳	457	15.1	8.5	5.5	5.5	7.9	3.1
75～79歳	322	13.7	11.5	8.7	5.9	7.1	4.3
80～84歳	147	11.6	8.8	6.1	9.5	6.1	2.7
85歳以上	62	11.3	6.5	8.1	4.8	-	1.6
【家族形態別】							
単身世帯	237	12.2	6.8	9.3	8.9	8.9	3.0
夫婦二世帯	739	12.4	8.8	6.2	6.9	6.1	4.2
本人と子の世帯	548	16.8	7.7	8.6	3.6	6.8	5.7
本人と子と孫の世帯	209	11.5	6.2	6.7	4.3	7.2	2.4
その他	329	17.6	10.3	5.8	9.4	4.3	4.3
【健康状態別】							
良い	787	9.7	6.4	4.2	6.5	4.4	4.4
まあ良い	379	13.5	5.3	6.3	5.8	9.0	4.5
普通	533	18.0	10.7	9.8	6.2	6.6	3.4
あまり良くない	293	18.4	10.2	8.5	7.5	7.2	4.1
良くない	70	25.7	18.6	20.0	5.7	10.0	8.6
良好（計）	1166	10.9	6.0	4.9	6.3	5.9	4.5
不良（計）	363	19.8	11.8	10.7	7.2	7.7	5.0
【住宅の種類別】							
持ち家	1826	13.9	8.4	6.1	7.2	4.9	3.7
借家	236	17.8	7.2	15.7	0.4	17.8	8.9
【住宅の建て方別】							
一戸建て住宅	1770	15.1	8.1	6.9	7.3	5.6	4.3
集合住宅	286	9.1	8.4	8.7	0.3	11.2	4.2

	住宅が狭い	部屋数が少ない	転居を迫られる心配がある	その他	何も問題点はない	わからない	回答計
【総数】	4.0	3.4	0.4	3.6	59.4	0.3	117.8
【都市規模別】							
大都市	5.5	4.9	0.2	4.0	61.2	-	115.9
中都市	5.0	4.2	0.8	3.7	55.1	0.2	122.8
小都市	1.9	1.9	-	3.8	61.9	0.6	114.6
町村	1.5	0.5	-	2.0	66.7	0.5	109.5
【年齢階級別】							
60～64歳	6.3	5.2	-	4.2	54.5	-	120.9
65～69歳	3.0	2.6	0.2	3.6	62.4	-	114.8
70～74歳	2.6	2.2	1.1	3.1	60.6	-	115.1
75～79歳	4.3	4.0	-	4.7	57.1	-	121.4
80～84歳	2.7	2.0	1.4	2.0	66.0	1.4	120.4
85歳以上	1.6	1.6	-	1.6	66.1	6.5	109.7
【家族形態別】							
単身世帯	2.5	0.8	0.4	4.2	60.8	0.8	118.6
夫婦二世帯	3.0	1.9	0.3	4.6	59.9	0.3	114.6
本人と子の世帯	4.7	3.6	0.4	3.1	58.4	-	119.3
本人と子と孫の世帯	5.7	7.2	1.0	1.9	64.1	-	118.2
その他	4.9	5.8	0.3	3.0	55.6	0.6	121.9
【健康状態別】							
良い	3.3	2.9	0.1	3.6	66.6	-	112.1
まあ良い	4.5	3.7	0.3	4.2	58.8	0.8	116.6
普通	3.9	3.6	0.8	2.8	55.7	0.2	121.6
あまり良くない	4.4	3.8	0.7	2.7	50.9	-	118.4
良くない	7.1	4.3	-	11.4	44.3	2.9	158.6
良好（計）	3.7	3.2	0.2	3.8	64.1	0.3	113.6
不良（計）	5.0	3.9	0.6	4.4	49.6	0.6	126.2
【住宅の種類別】							
持ち家	3.5	2.8	0.4	3.4	61.2	0.3	115.6
借家	8.1	8.1	0.4	5.5	45.3	-	135.2
【住宅の建て方別】							
一戸建て住宅	2.9	3.0	0.5	3.3	59.9	0.3	117.4
集合住宅	10.5	5.9	-	5.9	55.9	-	120.3